



# Fグループ会報



## 生涯教育としての音楽

音楽学部長 渡邊 明

学部になって8年、卒業生もそろそろ500名近くになります。月並みな言葉ですが、本当に時の経つのは速いものです。学部の学科構成も、開設当時は学部になることが急務でしたので様々な制約を受け、充分なものではありませんでした。特に器楽学科は、専攻をピアノとオルガンに限定せざるを得ませんでしたが、3年前からヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルートの専攻を加えました。これでやっと短大時代の姿に近くなっただと言えます。

そして、本年度、新たな躍進と学部教育の目的の充実を考え、大学院を開設すべく、6月に文部省に申請致しました。順調に行けば来年4月より大学院が誕生することになります。また、フェリスの音楽教育の歴史的な使命を考え、本年4月より『フェリス女学院大学・キリスト教音楽研究所』を開設致しました。これは、フェリス女学院が創立以来重視してきた、プロテstantキリスト教と音楽との関わりを一層深く、学問的に見極めることにより、学部及び大学院の設置構想を実り在るものとするために設けたものです。この研究所で行われることは、1) 譜美歌や聖歌の研究、及び礼拝奏楽の研究を通

して考える異文化交流について 2) 教会カンタータの歴史の研究や演奏を通して考えるキリスト教精神と西洋音楽の関係について等です。卒業生の中で興味のある方は研究員として入所することも可能としています。

短期大学改組以来、短い時間の中でフェリスの音楽教育がこの様に激しく動かざるを得ないのは、つまり、社会や人間の生き方が激しく動いているということです。大学の教育が4年間で一巻の終わりと考え、狭いキャンパスの中だけの視野でいたのでは、教育に何の意味も生じません。教育は社会を写し出すものであると同時に、その社会に生きる人間の生き方に働きかけてこそ意味あるものと考えます。その意味で音楽教育はまさに生涯教育の視野に立ったものでなければならぬでしょう。

フェリスの音楽教育に携わった先人達が、幼稚教育としての「フェリス音楽教室」に力を注いだことも、又同窓会の役員の人達が時間を割いて卒業生達にいろいろ音楽的な呼びかけをすることも、すべて音楽の持つ生涯性の意味を感じてのことと思われます。学部、大学院の教育と同窓生達の幹は今後、益々重要な意味を帯びて来るのではないかと思われます。

## 1997年度 総会開かれる

今年度のfグループ同窓会総会は、6月1日(日)初夏を感じるさわやかな午後、横浜高島屋ミーティング・サロンにおいて開催され、53名が出席した。比留間和子さん進行役のもと、現職の先生方、懐かしい先生方を交え、なごやかな午後の一時となった。

前半は、長年にわたりfグループのリーダーシップをとってこられた大島君子会長のごあいさつに始まり、96年度会計報告、活動報告、会則改訂についての承認などがなされた。引き続き佐竹明学長、渡邊明学部長より、少子化現象など様々な問題を抱えながらも、学部にキリスト教音楽研究所が設置されたこと、



ドイツ、ブレーメン芸術大学が提携大学になったこと、そして大学院が新設されつつあることなど活気と明るい展望に満ちた大学の様子が述べられた。また、同窓会支部の熱い支援に謝意を述べられるとともに、今後の大学と卒業生を結ぶ縁として、そして世の中に貢献できる音楽人としての同窓会に大きな期待を寄せていることなどが語られた。お二人のスピーチを挟み、学部長と宮城令子先生によるミニコンサートが行われ、会場は一時ショーベルトのさすらいの世界に引き込まれた。また、フェリス同窓生としてまた講師としてご自身のほぼ半生を音楽学部のために尽くされた大島君子先生自らが講師退任の紹介をされ、退任のごあいさつをされたというユニークな場面があったこともつけ加えておく。

後半は、遠く三島からご出席下さった倉長治子先生をはじめ、中田喜直先生、宗施月子先生、秋闇陽先生によるユーモアと魅力にあふれた楽しいスピーチの数々、そして新卒業生による初々しくもエネルギーな演奏へと続いた。最後は恒例の「夏の思い出」の大合唱である。今回は特に中田喜直先生の伴奏に新会長の中田幸子さんの指揮という夫婦(めおと)共演のもと、会場一杯に暖かなハーモニーがあふれ、会は閉じられた。

### 同窓会会長選挙のご報告

#### 新会長に

中田幸子(9回)さん決まる!

去る4月9日(水)に開かれました学年幹事会に於て任期満了に伴う会長選挙を実施しました。

会長候補者は推薦候補として中田幸子さんお一人でしたので、出席者全員による信任投票を行い、中田幸子さんに決定致しました。

ご出席及び委任状を下さいました学年幹事のみなさまのご協力に心から御礼申し上げます。

(今期の会長の任期は4年間です。)

選舉管理委員一同

### 新役員紹介

会長 中田幸子(9回)

副会長 江原郁子(8回) 大谷園子(11回)

書記 大坪恵子(15回) 篠崎幹子(26回)

会計 萩田由紀子(19回) 小林周子(29回)

執行 岩谷木あづみ(22回) 井上眞紀子(22回)

会報 田中圭(31回) 中島じゅん(45回)

常任 比留間和子(16回) 齋藤幸枝(16回)

丹野美緒(39回) 黑瀬恵理子(40回)

事務局 木村あづさ(43回)

来年の総会は、下記の通り行われます。皆様のご予定に加えていただければ幸いです。

とき 1998年5月31日(日)

ところ PM 1:00

横浜 島根軒本店

No.26

〒231 横浜市中区山手町68  
フェリス女学院大学  
音楽学部同窓会fグループ

### fグループ 新しい顔ぶれでスタート!

fグループ(音楽学部同窓会)は、前役員の任期満了に伴い、今年度より新しい役員によって運営されます。



新しく会長になつた

fグループ新会長  
中田幸子(9回)

初秋の候、fグループの皆様お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。この度fグループの推薦によつて新しく会長をさせていただくことになりました。3年間の副会長経験だけでの大役が務まるか少々不安ではありましたが、フェリス女学院のモットーである『For Others』の言葉を思い出して、お引き受けすることにいたしました。

同窓会(fグループ)の役割には大きく分けて二つあると思います。一つは卒業生のため、もう一つは学校のためです。音楽を志す我々にとって卒業後の演奏活動、音楽活動によつては学校のイメージを上げたり下げたりもいたしますので、常にフェリス女学院卒業生としての誇りを持ちながら勉強をしなければなりません。その手助けをするのが同窓会の一一番大きな役割と考えています。研修会や演奏の機会を作ったり、学校と卒業生の情報を出来るだけ詳しく提供すると共に両方の交流、親睦も又大切なことでしょう。

fグループには長い間事務局と専用の部屋がありませんでした。あちらこちらに分散された荷物を整理していくと、前会長や前役員達のご苦労がとても分かります。幸いなことに昨年大島君子前会長のご努力で念願の事務局と専用部屋が出来ました。そして今年5月にはピアノも入りました。fグループの方々が気軽に参加出来るサロンコンサートにはびったりの部屋です。少しずつ環境が整ってきましたので皆様方からの柔軟なアイディア、又、ご希望などお寄せ下されば幸いです。

### 中島学院長感謝会へのご案内

中島学院長は、本年9月末をもって学院長をご退任になられます。通算13年にわたって本学院の各学校の教育と法人の通常業務を総括され、フェリスの建学の精神と伝統を継承されつつ、新しい時代を拓くにふさわしい中等教育及高等教育の拡充・発展にご尽力になられました。

私たちは、中島学院長のご在任中のご尽力、ご苦労、ご指導に対して心からお礼を申しあげたく、下記のとおり、感謝の会を計画いたしました。

皆様にご賛同いただき、多数ご出席賜りますようご案内申しあげます。

記  
日時 1997年9月30日(火曜日)午後5時~7時  
会場 フェリスホール(山手)

なお、午後6時から7時までは同ホール階下のリハーサル室で中島先生ご夫妻を開むお茶の会を予定いたしております。軽食をご用意いたします。

ご不明の点等は、  
学院本部秘務課(電話 045-662-4511)までお問い合わせください。



*f* グループ

# 支 部 だ よ り

## ● 北支部から

支 部 長 平岩由美子(24回)  
副支部長 工藤 羊子(30回)

発足して3年となります北支部ですが、会員の居住地が広域にわたっているため、今のところ東北6県、北海道と分かれて活動しております。

今年は、東北地区の同窓生が中心となり、6月20日(金)水沢市文化会館にて「フェリス女学院大学音楽学部特別説明会」を催しました。当日は、約150名の音楽関係者、受験生などが会場に来て下さり、辻宥子先生、黒川浩先生によるミニコンサート、秋岡陽先生による楽理学科の説明、その他各学科の説明が行われ、ビデオも使いながら『フェリス』を詳しく知っていただきました。素晴らしい演奏と、楽しく魅力あふれるお話を伺った後、受験生を持つ地域の音楽関係の方達と懇親会を持ち、様々な質問に直接お答えしゆっくろお話をできましたことは、『フェリス』をより理解していただくために大変良かったと思っております。この説明会の後に、さっそく受験したいという生徒が出てきているそうで、優秀な後輩が続いて下さることが期待されます。なお、来年は同様の説明会を札幌で催す予定であります。

最後になりましたが、出演して下さった辻先生、黒川先生、秋岡先生、そして準備にあたっていろいろ助けて下さった宗施月子先生に感謝いたします。

工藤 羊子(30回)



の名前が、音と共に少しずつ浸透しつつある気配を感じ、たいへん嬉しいと思いました。当日はあいにくの天気(低気圧が中部地方を通過中)にもかかわらず、先輩方、同窓生の方たちをはじめ遠方より多くの方々がお越し下さい、若々しい華やかな会となりました。回を重ねるごとに積極的にコンサートのお手伝いをしてくださる若い方が増え、そんな時、改めてフェリスの良さを実感するひとときもあります。演奏者の方にとりましても、このフレッシュコンサートが地元名古屋で、自分の音楽が社会に接する初日となるわけです。この重みを大切につつ、これからも時代と共にめまぐるしく変化する社会とフェリスとの接点を考えてゆきたいと思います。

尚、今年から去年卒業の安藤和美さんと森純子さんが役員に加わって下さいました。来年は役員の選出をしたいと思っております。

秋のコンサートは11月28日、ゲーテの詩によるショーベルト歌曲と題しまして、芳野靖夫先生をお招きし、中部を代表する大橋多美子さんとのジョイントを催す予定です。

壁谷 茜子(36回)

## ● 中部支部から

支 部 長 岩澤 利子(14回)  
副支部長 牛込 まり(25回) 壁谷 基子(36回)  
書 記 石原 友子(34回)  
会 計 森 純子(45回)  
ジュニア・コンサート委員  
都筑 典子(23回) 大庭千恵美(25回)  
小池 香織(43回)  
同窓会委員 伴野さち子(21回) 安藤 和美(45回)

今年も、3月恒例16回目のジュニア・シニアコンサートに始まり、6月、5回目を迎えたフレッシュコンサートが催されました。

フレッシュコンサートでは、新聞に内容が紹介され外部の方から何件かお問い合わせがありました。フェリス

## ● 関西支部から

支 部 長 崔 順子(18回)  
副支部長 木村 凌子(15回)  
書 記 鈴木 初穂(13回)  
会 計 伊崎 瞳子(18回)

産声をあげたばかりの関西支部も早4年目を迎えます。前委員さん方の御苦労により活動もだんだん根づいて参りました。特に昨秋は大学より黒川浩先生をお招きしてピアノリサイタルとその後のティータイムと有意義な会が持たれました。私達新役員4名は3年間の歴史を引き継ぎながら、より発展させようと張り切ったり重荷に感

## ★☆★☆★☆クリスマス礼拝のご案内★☆★☆★☆★☆

主 催 フェリス女学院全同窓会  
日 時 12月13日(土)午後1時30分~3時  
会 場 フェリスホール  
説教者 松永希久夫先生(東京神学大学学長)

恒例のクリスマス礼拝(毎年12月の第2土曜日)は、年々出席者がふえ、昨年は用意したプログラムが足りなくなるほどでした。中・高の生徒さんのハンドベル演奏もございます。どうぞお友達、ご家族お誘い合わせてお出かけ下さい。

尚毎年当日の献金は、日本ユニセフ協会・日本キリスト教海外医療協力会等へ贈られます。昨年の献金は、216,400円でした。(4面参照)

全同窓会では、使用済みテレフォンカードと外貨の小銭を集めております。窓口は*f* グループ同窓会です。ご協力下さい。

フェリス女学院全同窓会 支部事務所

### 全同窓会東京支部の近況

支部長、田中順(*f* グループ1回)先生を中心に、2年前から東京支部は活気ある動きをしております。以前から続いている白菊会が母体となり、中、高、短大、大学の卒業生が料を問わず一同に集まっているのがこの支部です。

地域も東京を中心とした近県に及んで只今会員730名(*f* グループより120名)となっています。

長年続いている観劇会の他、今年は、氣仙先生によるキリスト教美術に関する解りやすい研修会や、卒業生のシスター神田がエキュメニカルな立場から生涯研究されているイコンと美のお話、役者、嵐主史氏の平家物語の朗読とトーク等の研修会がありました。

10月3日の総会には20回生の神戸倫樹美さんの講演と演奏(ヴィオラ・ダ・ガンバ)がありますので多数の方のご出席をお待ちしております。

企画される催物に参加され、昔を懐かしみながら親交を深め、人生を豊かに過ごされてはいかがでしょうか。

\*お問い合わせ

丸山 高峯(10回)  
平井 優子(10回)

